

年間指導計画 0歳児

認定こども園 遊林愛児園
作成日 2008年5月5日

年間目標	スローガン	伝えよう 生命の尊さ ほとけの心(森羅万象 いのちは皆 平等なり)	総合目標	仏様の子として、強く・明るく・仲良く伸びる。	基本の柱	1.仏様に親しみ、生命の尊さと生きる喜びを感じとる。(生命尊重・・・ひとつひとつのものを大切にすること) 2.身近な自然や社会の恵みに感謝し、明るい態度を作る。(報恩感謝・・・ありがとう・すみませんが素直に言える) 3.みんな仲良くし、希望をもって正しい行いに努める。(和合精進・・・一人ひとりが持っている力を出し合って共存していく力)	家庭と共に	〈健全な子育てを願って〉 1.メディア時代の豊かな子育て(ノーテレビデーの推進など) 2.望ましい食生活を目指して(食習慣の必要性など) 3.子どもの可能性を信じ、子どもからも信じられる親	子育て支援	家庭	・家庭との連絡を密にし、保育者と保護者との信頼関係のもとに子育てについて共通理解を深め、成長の喜びを共有していく。	地域	・うきは地域子育て支援センター「ゆうりんランド」を拠点として、地域の子育て支援、並びに一時的保育を行う(ホームページを参照) ・園庭開放、講演会、育児相談などを通して、地域の子育てを支援する。 ・地域活動への参加や園内行事への招待など、地域交流を行う。																							
		〈保育姿勢〉 一人ひとりを大切にし、ともに生き・ともに育ちあう保育を実践しよう。																																		
単元	4月 礼拝	5月 和合	6月 精進	7月 歓喜	8月 慈悲	9月 協調	10月 観察	11月 報恩	12月 奉仕	1月 忍耐	2月 智疑	3月 希望																								
月齢	0歳												1歳												2歳											
養護	発達のみちすじ	・空腹になると泣いて知らせる。				・離乳食を食べ始める。 初期(ゴックン) ——— 中期(モグモグ) ——— 後期(カミカミ) ——— 完了期				・手づかみで食べる。				・コップやスプーンを持って食べようとする。																						
		・睡眠、目覚めを一日のうちに何度も繰り返す。				・午睡は、午前と午後の1日2回となる。				・オマルで排泄する。				・午睡が1回になり、安定して眠るようになる。																						
教育	保育の内容(育てほしい内容を含む)	・授乳は、子どもと目を合わせて抱き笑顔でやさしく語りかけながら飲ませる。				・そしゃくの発達に合わせて調理を工夫し、食べることへの関心を育てていく。				・保育者に食べさせてもらったり、こぼしながらもスプーンやフォークを使ってひとりで食べたりして、食事への意欲を大切にする。																										
		・24時間を視野に入れ、一人ひとりの生活リズムを大切に、一定時間安心して眠るようにする。				・機嫌のよいときにオマルに誘い、座ることに慣れるようにする。				・一人ひとりの排尿の間隔を把握し、オマルやトイレに誘い、認めたりほめたり共に喜んだりして、習慣づけていく。																										
環境構成のポイント	環境構成のポイント	・見る、聞く、からだを動かす楽しさをはぐむために				・自由に手を動かすことを楽しみ、玩具へ向かう力をはぐむために				・心を揺さぶられ、人とのふれあいや、やりとりを楽しむために																										
		あやし遊び いないいないばあ つつき遊び など				のぼり・すべりあそび 出し入れ遊び など				ゆさぶり遊び まねっこあそび 追いかけ遊び やりとり遊び ふれあい遊び など																										
家庭と一緒に	家庭と一緒に	・家庭と常に連絡し合いながら、一人ひとりの生活リズムを作っていく。				・家庭状況や親の立場の状況を理解して、密に連絡をし、安心して預けられるようにする。				・衣服の調節や体調など、こまめに家庭と連絡し合う。																										
		・母乳をなるべく続けられるよう母親と連絡を取り合い、方法を工夫していく。				・離乳食は園と家庭が協力し合って無理のないように進めていく。				・1歳6か月検診の受診を勧め、その後の対応について協力し合う。																										
		・オンプの子育て・布おむつの推進(乳幼児期に体験する快感と不快感は人格形成にも影響する)。				・2歳まではテレビやビデオなどを見せない子育ての推進				・静かな音楽で、安らかな睡眠を心地よい話し声(お父さん、お母さん)で楽しく安心できる環境づくり。																										

年間指導計画 1歳児

認定こども園 遊林愛児園
作成日 2008年5月5日

年間目標	スローガン	伝えよう 生命の尊さ ほとけの心(森羅万象 いのちは皆 平等なり) 〈保育姿勢〉 一人ひとりを大切にし、ともに生き・ともに育ちあう保育を実践しよう。	総合目標	仏様の子として、強く・明るく・仲良く伸びる。	基本の柱	1.仏様に親しみ、生命の尊さと生きる喜びを感じとる。(生命尊重・・・ひとつひとつのものを大切にすること) 2.身近な自然や社会の恵みに感謝し、明るい態度を作る。(報恩感謝・・・ありがとう・すみませんが素直に言える) 3.みんな仲良く、希望をもって正しい行いに努める。(和合精進・・・一人ひとりが持っている力を出し合って共存していく力)	家庭と共に	〈健全な子育てを願って〉 1.メディア時代の豊かな子育て(ノーテレビデーの推進など) 2.望ましい食生活を目指して(食習慣の必要性など) 3.子どもの可能性を信じ、子どもからも信じられる親	子育て支援	家庭 ・家庭との連絡を密にし、保育者と保護者との信頼関係のもとに子育てについて共通理解を深め、成長の喜びを共有していく。	地域 ・うきは地域子育て支援センター「ゆうりんランド」を拠点として、地域の子育て支援、並びに一時的保育を行う(ホームページを参照) ・園庭開放、講演会、育児相談などを通して、地域の子育てを支援する。 ・地域活動への参加や園内行事への招待など、地域交流を行う。							
		単元		4月 礼拝		5月 和合		6月 精進		7月 歓喜		8月 慈悲	9月 協調	10月 観察	11月 報恩	12月 奉仕	1月 忍耐	2月 智疑
養護	期	1期(4～5月) 「先生、大好き」		2期(6～8月) 「先生と一緒に」			3期(9～12月) 「いいものみつけた」			4期(1～3月) 「友だちと一緒に」								
	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりを受容し、信頼関係を築くなかで、新しい環境に慣れ、情緒の安定を図る。 安心できる保育者と好きな遊びをする。 		<ul style="list-style-type: none"> 安心できる保育者との関係の中で、食事、排泄などの生活を通して、自分でしようとする気持ちの芽生えをはぐくむ。 保育者と一緒に水・砂・土などに触れ、感触を楽しみ遊ぶ。 			<ul style="list-style-type: none"> 食事、排泄、着脱などの身の回りのことを自分でしようとする気持ちを受け止め、さりげなく援助する。 秋の自然の中で、探索活動や体を動かすことを楽しむ。 			<ul style="list-style-type: none"> 保育者への甘えや依存の欲求を満たしながら、信頼関係を作っていく。 保育者や友だちの言葉や動きをまねて、簡単なごっこ遊びや見立て遊びを楽しむ。 								
	基礎的事項	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの発育、発達状態、健康状態を把握する。 探索活動が始まるので、身の回りを充分点検し、安全な場所で好きな遊びが自由にできるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 水分補給、休憩など夏の健康に気をつけながら、安全な環境に留意し、水遊びが楽しめるようにする。 歩行が安定し、探索活動が活発になるので、安全な環境を整える。 			<ul style="list-style-type: none"> 気温の変化が激しいので健康面に十分配慮し、気温や運動量に合わせて、水分補給や衣服調節をする。 戸外遊びや園外散歩がのびのびと楽しめるように、事前に安全を確認しておく。 			<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子供の健康状態を把握し、感染症予防に努め、健康に過ごせるようにする。 簡単な身の回りのことを自分でしようとする気持ちを十分に認めて援助する。 								
教育	月齢	1歳		1歳3ヶ月			1歳6ヶ月			2歳			2歳6ヶ月			2歳11ヶ月		
	保育の内容(生活・人のかかわり・あそび)	<ul style="list-style-type: none"> 保育者に食べさせてもらったり、手づかみやスプーンを使ったりして食べようとする。 怖がらずに検診を受ける(歯科・内科) おむつ交換を嫌がらずにしてもらい、徐々にオマルに慣れる。 嫌がらずに、手や顔を拭いたり洗ってもらったりする。 衣服を換えてもらうとき、自分で足や手を通そうとする。 保育者についてもらって、安心して眠る。 名前を呼ばれたら振り向いたり、身振りや返事をしてこたえる。 好きな保育者を求め、保育者がいることを確かめながら遊ぶ。 はったり、伝い歩きをしたり、自由にあるき回ったり、興味を引くものをいじったりして遊ぶ。 様々な快い音や音楽を聴いて、体を動かす。 		<ul style="list-style-type: none"> 保育者をまねて、食前食後の挨拶をする。 尿意をことばや動作で知らせるようになる。 保育者と一緒に手を洗う。 衣服を自分で脱いだりはいたりしようとする。 自分の布団がわかり、保育者に見守られて眠ろうとする。 してほしいことを身振りや一語文で伝える。 車や空き箱をまたぐ、くぐる、上り下り、押す、引っばるなど、前進を使った遊びをする。 保育者と一緒に歌おうとしたり手遊びをしたり、体を動かしたりして遊ぶ。 			<ul style="list-style-type: none"> スプーンやフォークを持ってこぼしながらもひとりで食べようとする。 保育者と一緒に食前食後の挨拶をする。 手が汚れたら、自分で手を洗いに行く。 好きな絵本を読んでもらったり、保育者の話しかけを喜び、「ワンワン」「マンマ」など一語文を話す。 絵本の中の繰り返し言葉を模倣して楽しむ。 友だちを意識しだし、同じ遊びをしたり手をつないだりして一緒に遊ぼうとする。 登る、降りる、跳ぶ、くぐる、押す、引っばるなどの全身を使ったあそびや、いじる、叩く、摘む、転がすなど、手や指を使うあそびを楽しむ。 歌を歌ったり、リズムに合わせてからだを動かしたりしてあそぶ。 			<ul style="list-style-type: none"> スプーンや箸を使って自分で食べようとする。 トイレに慣れ、パンツを脱いで排泄しようとする。 ボタン、スナップなど外したりはめたりしようとする。 機嫌よく目覚める。 保育者と一緒に、絵本を見ながら簡単なことばの繰り返しや模倣をしてあそぶ。 機嫌よく目覚める。 保育者が仲立ちとなり、友だちとごっこあそびをする 走ったり追いかけてごっこをしたりする。 								
	家庭と一緒に	<ul style="list-style-type: none"> 家庭と常に連絡し合いながら、食事や睡眠など一人ひとりの生活のリズムをつくっていく。 新入児の保護者の不安を受けとめ、送迎の際ははいねいに子どものようすを知らせ、安心して預けられるようにする。 衣服の調節や体調など、こまめに家庭と連絡し合う。 オンプの子育て・布おむつの推進(乳幼児期に体験する快感と不快感は人格形成にも影響する)。 		<ul style="list-style-type: none"> 運動機能、ことば、自我の芽生えなどの成長を共に喜び、ゆったりと見守っていく。 1歳6か月健康診査の受診を勧めその後の対応について協力し合う。 			<ul style="list-style-type: none"> おむつからパンツにする準備をしていく。 			<ul style="list-style-type: none"> 2歳まではテレビやビデオなどを見せない子育ての推進 								

年間指導計画 2歳児

認定こども園 遊林愛児園
作成日 2008年5月5日

年間目標	スローガン	総合目標	基本の柱	家庭と共に	子育て支援	家庭との連絡を密にし、保育者と保護者との信頼関係のもとに子育てについて共通理解を深め、成長の喜びを共有していく。											
						うきは地域子育て支援センター「ゆりりんランド」を拠点として、地域の子育て支援、並びに一時的保育を行う(ホームページを参照) ・園庭開放、講演会、育児相談などを通して、地域の子育てを支援する。 ・地域活動への参加や園内行事への招待など、地域交流を行う。											
単元	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
期	1期(4~5月)			2期(6~8月)			3期(9~12月)			4期(1~3月)							
養護	(基礎的な事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 健康安全に留意した中で、一人ひとりの欲求を満たし、情緒の安定を図りながら、安心して過ごせるようにする。 保育者に見守られながら、好きな遊びを見つけて楽しむ。 身近な自然や動植物に触れながら、戸外でのびのびと体を動かして遊ぶことを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの生活リズムや、健康状態に合わせた休息を適切にとり、健康的・衛生的に生活できるようにする。 保育者に手助けされながら、自分で簡単な身の回りのことをしようとする。 保育者や友だちとかかわりながら、水や砂・土などの自然物に触れて楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節の変化に留意しながら、保健的で安全な環境の中で、のびのびと過ごせるようにする。 ごっこ遊びなどを通して、友だちとことばのやりとりをしながら、遊びの楽しさを味わう。 戸外に出て自然の変化に気づいたり、全身を使って遊ぶことを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 冬の健康保健に留意し、感染症予防に努め、健康に過ごせるようにする。 友だちと一緒に、生活や遊びの中でイメージを共有して遊ぶことを楽しむ。 冬の自然現象に興味を持ち、ふれて楽しむ。 簡単な手伝いや当番活動を通して、みんなと一緒にいる楽しさを味わう。 												
		<ul style="list-style-type: none"> 友だちと一緒に食事をするに慣れる。 泣かずに毎月の歯科検診を受ける 保育者に誘われてトイレに行き、排泄する。 保育者に見守られて安心して眠る。 簡単な衣服の脱ぎ着に興味を持ってしようとする。 保育者に見守られながら、手洗いをする。 保育者と一緒に戸外遊びを楽しむ。 自分の好きな遊びを見つけて遊ぶ。 自分の置き場所を知り、保育者と一緒に持ち物を片づける。 身近な春の自然に触れて遊ぶ。 挨拶や自分の要求をことばやしぐさで伝えようとする。 絵本や紙芝居を読んでもらったり見たりする。 いろいろな生活用具や素材に触れ、探索する。 保育者や友だちと一緒に簡単な手遊びやふれあい遊びをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気の中で食事をし、初めての食品でも少しは食べてみようとする。 事前に尿意や便意を知らせ、トイレで排泄しようとする。 快適な環境の中で午睡し、十分な休息をとる。 簡単な衣服の脱ぎ着を自分でしようとする。 食後の歯磨きやクチュクチュウがいをする。 保育者に見守られ、安全な遊具の使い方をして遊ぶ。 玩具や身の回りにある物の名称や使い方に関心を持つ。 友だちと一緒に水・砂・土に触れて遊ぶ。 身近な小動物に興味を持ち、親しむ。 保育者や友だちの名前と生活に必要な簡単なことばがわかり、自分の思いをことばで伝える。 いろいろな素材に触れて感触を楽しんだり、パスで描いたりする。 保育者や友だちと一緒に体を動かしたり、踊ったりして楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 箸に興味を持ち徐々に使うことに慣れ、様々な食べ物を食べようとする。 パンツやズボンを自分で下げて排泄する。 自分から布団に入り、静かに眠ろうとする。 衣服をたたむことに興味を持ち、自分でしようとする。 戸外遊びのあとには、手洗いやうがいをし、汚れた衣服は着替えようとする。 走る、跳ぶ、またぐ、登る、押す、引っぱるなどの全身を使った遊びをする。 生活には必要なルールがあることに気づき、保育者に促され待ったり譲ったりする。 散歩などを通して、身近な秋の自然物に触れて遊ぶ。 保育者や友だちと簡単なごっこ遊びをする中で、ことばのやりとりを楽しむ。 身近な素材を使うことに興味をもち、できたものに意味づけをして遊ぶ。 友だちと一緒に歌ったり、踊ったり、体を動かしたりして、表現して遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 食器や箸の使い方を覚え、友だちと楽しく食事をする。 尿意や便意を感じ、自分でトイレに行き、後始末や手洗いをしようとする。 衣服の前後・裏表に気づき、自分で直そうとする。 鼻水が出ていることに気づき、自分で拭こうとする。 保育者や友だちと一緒に、追いかっこや簡単なルールのある遊びなどで、十分に体を動かして遊ぶ。 保育者と一緒に簡単な手伝いや片づけを喜んでする。 冬の自然現象に興味を持ち、ふれて遊ぶ。 経験したこと、考えたことなどをことばで伝える。 繰り返しのある絵本や紙芝居などを見たり聞いたりして、イメージして遊ぶ。 いろいろな素材をちぎったり丸めたり、貼ったりして、好きな物を作る。 保育者や友だちと一緒に絵本の内容をイメージして、まねっこ遊びをして楽しむ。 												
教育	<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境に対する戸惑いを少しでも和らげるため、こどもの様子や、子育てで大切なことを保護者に伝えながら、こまめに話し合える場を作り、保護者の不安な気持ちを受け止め、信頼関係を作っていくようにする。 2歳まではテレビやビデオなどを見せない子育ての推進 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭でも楽しくふれあえる遊びや夏の遊びを知らせ、親子で遊ぶ楽しさを味わってもらい、スキンシップの大切さを伝えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 自我の芽生えや反抗期などの心の発達について共通理解をし、どのようにして受け止めればよいのか話し合い、こどもの気持ちによりそった関わりができるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの成長の歩みには違いがあることを受け止め、その子の心と体の発達に関心を向けて、その子なりの育ちを認め合えるよう話し合っていく。 													

年間指導計画 3歳児

認定こども園 遊林愛児園
作成日 2008年5月5日

年間目標	スローガン	伝えよう 生命の尊さ ほとけの心(森羅万象 いのちは皆 平等なり)	総合目標	仏様の子として、強く・明るく・仲良く伸びる。			基本の柱	1.仏様に親しみ、生命の尊さと生きる喜びを感じとる。(生命尊重・・・ひとつひとつのものを大切にすること) 2.身近な自然や社会の恵みに感謝し、明るい態度を作る。(報恩感謝・・・ありがとう・すみませんが素直に言える) 3.みんな仲良くし、希望をもって正しい行いに努める。(和合精進・・・一人ひとりが持っている力を出し合って共存していく力)			家庭と共に	〈健全な子育てを願って〉 1.メディア時代の豊かな子育て(ノ・テレビデーの推進など) 2.望ましい食生活を指して(食習慣の必要性など) 3.子どもの可能性を信じ、子どもからも信じられる親		子育て支援	家庭	・家庭との連絡を密にし、保育者と保護者との信頼関係のもとに子育てについて共通理解を深め、成長の喜びを共有していく。 ・うきは地域子育て支援センター「ゆうりんランド」を拠点として、地域の子育て支援、並びに一時的保育を行う(ホームページを参照) ・園庭開放、講演会、育児相談などを通して、地域の子育てを支援する。 ・地域活動への参加や園内行事への招待など、地域交流を行う。									
		地域																							
単元	4月 礼拝		5月 和合		6月 精進		7月 歓喜		8月 慈悲		9月 協調		10月 観察		11月 報恩		12月 奉仕		1月 忍耐		2月 智疑		3月 希望		
期	1期(4～5月)						2期(6～8月)						3期(9～12月)						4期(1～3月)						
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活で緊張や不安を抱き泣く子ども、落ち着きのない子ども、不安な表情の子どもがいる。 ・園生活の流れがわかり、生活のリズムに慣れてくると、自分からあそんだり、保育士に助けられて身のまわりのことをする。 						<ul style="list-style-type: none"> ・園生活にも慣れ、さまざまな遊具や素材に関心をもち、自分のやりたい遊びをみつけて楽しんでいる。 ・友だちとあそぶようになるが、自己主張が強くなり、ぶつかり合いが多くなる。 						<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を自分でしようとするが、思うようにできず保育士に援助を求めるときもある。 ・運動機能も高まり、さまざまな運動遊びを楽しんだり、友だちと一緒にあそぶ楽しさがわかり、仲間意識も芽生える。 ・年上の友だちのまねをしたり、一緒にあそぶことを喜ぶ。 						<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりのことが自分でできるようになり、友だちを手伝おうとする。 ・友だちとのトラブルも多くなるが、少しずつ相手の思いを受け入れるようになり、遊びも持続するようになる。 ・異年齢の友だちとの遊びを喜び、進級を楽しみにしている。 						
期のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。 ・一人ひとりの欲求を受けとめながら、情緒の安定した生活ができるようにする。 ・生活に必要な基本的な習慣を身につける。 ・園の遊具や玩具に興味をもち、保育士や友だちとかかわりながら好きな遊びを楽しむ。 ・年上の友だちにあそんでもらい喜ぶ。 						<ul style="list-style-type: none"> ・適切な休息をとりながら、梅雨や暑い時期を健康で過ごすようにする。 ・子どもの気持ちを受け入れながら、信頼関係を築くようにする。 ・遊びや生活には決まりや約束があることを知り、守ろうとする。 ・全身を使った遊びや、さまざまな夏の遊びを保育士や友だちと楽しむ。 ・年上の友だちとかかわりを楽しむ。 						<ul style="list-style-type: none"> ・戸外活動が多くなるので、活動と休息のバランスを心がけ快適に過ごすようにする。 ・保育士との信頼関係を深めながら、意欲的に活動できるようにする。 ・生活の仕方がわかり、自分でしようとする。 ・戸外遊びや運動遊びに興味をもち、友だちとからだを動かしてあそぶことを楽しむ。 ・年上の友だちとかかわりを楽しむ。 						<ul style="list-style-type: none"> ・冬の健康生活に留意し、快適に生活できるようにする。 ・落ち着いた雰囲気の中で、安定した気持ちで生活できるようにする。 ・基本的な生活習慣が身につく、自信をもって行動する。 ・大きくなったことを喜び、友だちとさまざまな遊びを楽しむ。 ・異年齢の友だちと一緒に遊びながら、かかわりを広める。 						
保育の内容	養護	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内外の環境を整え、安全で健康な生活ができるようにする。 ・ゆったりとした雰囲気のなかで、一人ひとりのありのままを受容し、安心して過ごすことができるようにする。 						<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨や暑い時期の環境保健に配慮し、一人ひとりの健康状態を把握して、異状のある場合には適切な対応をする。 ・一人ひとりとのふれあいの機会を多くし、子どもの気持ちを受け入れ信頼関係を築いていく。 						<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変化に応じて、体調に気をつけながら健康で安全な生活ができるようにする。 ・保育士との信頼関係のなかで自分の気持ちや考えを安心して表し、意欲的にあそぶことができるようにする。 						<ul style="list-style-type: none"> ・気温差や活動に留意し、安全に気をつけながら健康に生活できるようにする。 ・一人ひとりの成長を認めながら、満足感、達成感を味わうようにする。 					
	健康 人間関係 環境 ことば 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の助けを受けながら、食事、排泄、着脱、手洗いなど基本的な生活の仕方を知り、自分でしようとする。 ・検診を進んで受ける(内科、歯科など)。 ・安全な遊具の使い方を知り、喜んであそぶ。 ・保育士や友だちに親しみをもってあそぶ。 ・年上の友だちのそばであそんだり、手をつないでもらったりして親しむ。 ・身近な動植物を見たり、触れたりして、親しみをもつ。 ・自分のものと人のものを区別し、整理する場所がわかる。 ・保育士にしたいこと、して欲しいことを動作やことばで訴える。 ・挨拶や返事など生活や遊びに必要なことばを使う。 ・知っている歌を歌ったり、音楽に合わせてからだを動かすことを楽しむ。 ・知っている歌や簡単な手遊びを楽しむ。 ・身近な素材に親しみ、描いたり、作ったりしてあそぶ。 						<ul style="list-style-type: none"> ・生活の流れがわかり、食事、排泄など保育士に見守られ、できることは自分でしようとする。 ・戸外遊びや水遊びで思いっきりからだを動かすことを楽しむ。 ・生活や遊びのなかで友だちとのトラブルを経験し、友だちの気持ちや存在を知ると共にあやまる心、許し合う心等を培う。 ・年上の友だちに親しみをもって、まねをしてあそぶ。 ・梅雨期や夏の自然事象に興味をもったり、夏ならではの遊びを十分に楽しんだりする。 ・園や地域の行事に興味や関心をもつ。 ・経験したことを保育士に話したり、さまざまな場面で「なぜ」「どうして」など質問したりする。 ・絵本や紙芝居、童話などに親しみ、見たり聞いたりして楽しむ。 ・身のまわりの様々なものの音、色、形、手触り、動きなどに気づく。 ・身近な素材や用具を使って、描いたり作ったりする楽しさを味わう。 						<ul style="list-style-type: none"> ・生活の仕方がわかり、簡単な身のまわりのことを自分でする。 ・さまざまな運動器具や遊具を使って、十分にからだを動かして遊ぶ。 ・生活や遊びに必要な決まりを守り、友だちと一緒に遊びを楽しむ。 ・行事や日常生活や遊びのなかで、年上の友だちとのふれあいを楽しむ。 ・身近な自然物や収穫物に関心をもち、触れたり遊んだりする。 ・身近な人びとの生活を取り入れたごっこ遊びを楽しむ。 ・保育士の話を親しみをもって聞いたり、保育士と話したりして、さまざまなことばに興味をもつ。 ・絵本や紙芝居、童話などを読み聞かせてもらい、イメージをもって楽しんで見たり、聞いたりする。 ・動物や乗り物などの動きを模倣して、からだで表現する。 ・さまざまな素材や自然物を使って、好きなように描いたり、扱ったり、形を作ったりして遊ぶ。 						<ul style="list-style-type: none"> ・生活の流れの見通しをもつようになり、身のまわりのことを自分でする。 ・寒さに負けず、十分にからだを動かしてあそぶことを楽しむ。 ・気の合った友だちとイメージを共有しながら遊ぶなかで、譲り合ったり我慢したりすることを知る。 ・異年齢児とかかわる機会が多くなり、一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・冬の自然事象に驚きや関心をもち、ふれて遊ぶ。 ・生活や遊びのなかで、身のまわりの物の色、数、量、形などに興味をもち、違いに気づく。 ・身のまわりの出来事に関する話に興味をもつ。 ・絵本や紙芝居、童話などの内容がわかり、イメージを広げる。 ・友だちと一緒に音楽を聞いたり、歌ったり、からだを動かしたり、リズム楽器を鳴らして楽しむ。 ・作ったものを用いてあそんだり、保育士や友だちと一緒に身のまわりを飾って楽しむ。 					
援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭にあるような玩具や遊び慣れた遊具を用意しておき、温かい雰囲気のなかで好きな遊びをみつけることができるようにする。 ・新入児と進級児との生活経験の違いを把握し、一人ひとりの気持ちや行動をよくみて、必要な対応を心がける。 ・年上の友だちと楽しく遊べる場と、十分な時間を確保する。 						<ul style="list-style-type: none"> ・安全や健康に気を配り、夏ならではの遊びを十分に楽しめるように、生活のリズムや心身の状態を把握しておく。 ・トラブルが起きたときは、お互いの気持ちや言い分をゆったりと受けとめ、相手の立場や思いに気づかせていく。 ・年上の友だちとあそぶ姿を大切に見守り、やさしくことばをかけたたりする。 						<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの運動能力を把握し、安全面に留意しながら意欲的に取り組むことができるようにする。 ・積極的に園外に出かけ、自然、社会事象に対する感動体験を多くもつようにする。 ・年上の友だちとかかわりが増えていくことで、自分もやってみようという思いが満たされるよう、必要な用具を身近に用意しておく。 						<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの成長発達を把握し、励ましたり認めたりすることで自信へとつなげていき、進級への期待や喜びをもつようにする。 ・子どもの興味や遊びに合わせて環境や遊具を整え、友だちとの遊びが深まるように再構成していく。 ・異年齢の友だちとかかわりを広めることができるように、一緒に遊ぶ環境を用意する。 						

年間指導計画 4歳児

認定こども園 遊林愛児園
作成日 2008年5月5日

年間目標	スローガン	伝えよう 生命の尊さ ほとけの心(森羅万象 いのちは皆 平等なり)	総合目標	仏様の子として、強く・明るく・仲良く伸びる。	基本の柱	1.仏様に親しみ、生命の尊さと生きる喜びを感じとる。(生命尊重・・・ひとつひとつのものを大切にすること) 2.身近な自然や社会の恵みに感謝し、明るい態度を作る。(報恩感謝・・・ありがとう・すみませんが素直に言える) 3.みんな仲良くし、希望をもって正しい行いに努める。(和合精進・・・一人ひとりが持っている力を出し合って共存していく力)	家庭と共に	〈健全な子育てを願って〉 1.メディア時代の豊かな子育て(ノ・テレビデーの推進など) 2.望ましい食生活を指して(食習慣の必要性など) 3.子どもの可能性を信じ、子どもからも信じられる親	子育て支援	家庭	・家庭との連絡を密にし、保育者と保護者との信頼関係のもとに子育てについて共通理解を深め、成長の喜びを共有していく。	地域	・うきは地域子育て支援センター「ゆうりんランド」を拠点として、地域の子育て支援、並びに一時的保育を行う(ホームページを参照) ・園庭開放、講演会、育児相談などを通して、地域の子育てを支援する。 ・地域活動への参加や園内行事への招待など、地域交流を行う。
		〈保育姿勢〉 一人ひとりを大切に、ともに生き・ともに育ちあう保育を実践しよう。									・園庭開放、講演会、育児相談などを通して、地域の子育てを支援する。 ・地域活動への参加や園内行事への招待など、地域交流を行う。		
単元	4月 礼拝	5月 和合	6月 精進	7月 歓喜	8月 慈悲	9月 協調	10月 観察	11月 報恩	12月 奉仕	1月 忍耐	2月 智疑	3月 希望	
期	1期(4～5月)			2期(6～8月)			3期(9～12月)			4期(1～3月)			
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境のなかで不安や戸惑いを感じる子もいるが、保育者や友だちとのかかわりのなかで少しずつ慣れ、元気に活動している。 ・気の合う友だちや異年齢児と好きな遊びを楽しんだりしているが、かかわりは浅く、保育者のまわりで遊んでいる子もいる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・生活に慣れ、身のまわりのことを自分でしようとするが、なかには保育者の援助も必要な子もいる。 ・友だちと一緒に活動的な遊びを楽しむ反面、危険な遊び方や自己主張によるトラブルがみられる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・自分でできることに喜びをもち、意欲的に自分のことは自分でできるようになる。 ・ルールのある遊びや共同で取り組む活動ができるようになったり、同じ目的に向かって遊びを展開し、表現することを喜んだりする。 ・運動遊びや自然物を使った遊びがみられるようになる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・年長組になることへの期待感が膨らみ、自分なりの力を発揮して活動に取り組む。 ・友だちとのつながりが深まり、自分の思いや考えを表したり、友だちの思いを受け入れたり我慢したりする気持ちが育ってきている。 			
期のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・健康的で安全な環境をつくり、一人ひとりの欲求を満たし情緒の安定を図る。 ・生活の仕方がわかり、簡単な身のまわりのことを自分でする。 ・保育者や友だちと一緒に好きな遊びを楽しむ。 <p>◎収穫や作付けを通して自然の営みや恵みに感謝し、生命の尊さを知る。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・夏期の健康状態に配慮し、午睡や休息・水分の補給を十分に心身の疲れを緩和しながら、快適に生活できるようにする。 ・一人ひとりの子どもを理解し、保育者との信頼関係のなか、自分の思いを安心して表すことができるようにする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変化に応じた環境保健に留意し、快適に過ごせるようにする。 ・友だちとのかかわりを広げて、共通の目的を持って活動することを楽しむ。 ・身近な自然にふれ、見たり考えたりしてあそぶ楽しさを味わう。 			<ul style="list-style-type: none"> ・冬の健康生活に留意し、寒さに負けず元気に過ごせるようにする。 ・健康・安全など生活に必要な基本的習慣が身につく、快適に過ごせるようにする。 ・友だちとのつながりを広げ、意欲的に活動し、自分の力を発揮することができる。 			
保育の内容	養護	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を明るく清潔に整え、安全で快適に過ごせるようにする。 ・一人ひとりを温かく受けとめ、安心して生活できるようにしながら、信頼関係を深めていく。 			<ul style="list-style-type: none"> ・夏期の健康状態に配慮し、午睡や休息・水分の補給を十分に心身の疲れを緩和しながら、快適に生活できるようにする。 ・一人ひとりの子どもを理解し、保育者との信頼関係のなか、自分の思いを安心して表すことができるようにする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・気温の変化に応じた環境保健に留意し、健康で快適に過ごせるようにする。 ・友だちと思いを伝え合いながら、共通の目的を持って意欲的に集団で活動することを楽しむ。 			<ul style="list-style-type: none"> ・暖房器具などの安全に留意し、室温や換気に気をつける。 ・一人ひとりの成長を認め、自信を持って工夫しながら生活できるようにする。 		
	健康	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の仕方がわかり、自分でできることは進んでしようとする。 ・体のしくみや機能を知り、検診を受ける(内科、歯科など)。 			<ul style="list-style-type: none"> ・夏の健康的な生活の仕方を知り、自分でしようとする。 ・戸外遊びや水遊びで思いきりからだを動かす。 			<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変化や活動に応じた生活習慣を身に付ける。 ・いろいろな運動器具を使用し、全身を使って楽しくあそぶ。 			<ul style="list-style-type: none"> ・冬の健康に必要な生活習慣を身に付ける。 ・寒さに負けず、戸外で全身を思いきり動かして遊びを楽しむ。 		
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で、保育者や友だちと一緒に食事をする。 ・遊具や用具に親しみ、安全な使い方を学ぶ。 ・保育者や友だちに親しみを持ち、一緒に好きな遊びを楽しむ。 ・異年齢児の友だちに親しみを持つ。 			<ul style="list-style-type: none"> ・嫌いなものでも少しずつ食べようとする。 ・共同の遊具・用具を大切に、譲り合う気持ちをもつ。 ・園の行事を通して地域の人とかかわったり、友だちや異年齢児とも一緒にあそぶ。 			<ul style="list-style-type: none"> ・からだと食べ物に関係に興味をもち、楽しく食べる。 ・自分の意見を主張したり、友だちの考えを受け入れたりして行動する。 ・異年齢のなかでも自分の思いを伝えたり、相手の思いに気づいたりする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・食事の仕方が身につく、友だちと一緒に楽しく食事をする。 ・友だちと生活するなかで、決まりの大切さに気づき、集団遊びを楽しむ。 ・異年齢児の友だちにかかわり合い、積極的にあそぶ。 		
	環境 ことば 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・春の自然や小動物に触れたり、見たりして、興味をもつ。 ・持ち物の始末や遊具・用具の置き場所がわかり、自分で身支度をする。 ・日常生活に必要な挨拶やことばを知る。 ・絵本・紙芝居などを見たり聞いたりして楽しむ。 ・歌を歌ったり、からだを動かして楽しむ。 ・身近な素材に親しみ、自由に描いたり作ったりして楽しむ。 			<ul style="list-style-type: none"> ・水・土・砂などに触れ、夏ならではの遊びを十分に楽しむ。 ・身近な動植物や夏の自然事象に興味や関心を深める。 ・夏の経験や興味のあることなどを話し、保育者や友だちとの会話を楽しむ。 ・絵本や童話・図鑑などに親しみ、見たり聞いたりして楽しむ。 ・歌を歌ったりリズムに合わせて踊ったりして、身近なものを表現することを楽しむ。 ・さまざまな素材や用具を使って、描いたり作ったりした物を使ってあそんだりして楽しむ。 			<ul style="list-style-type: none"> ・季節の移り変わりに伴う自然事象に興味をもち、自らかかわろうとする。 ・具体的なものを通して、数・量・形などの違いに気づき、興味をもつてあそぶ。 ・話しかけや問いかけに自分なりのことばで返事をする。 ・絵本などを読み聞かせてもらうことを喜び、イメージを広げる。 ・音楽に親しみからだを動かしたり、自分なりに感じたまま表現する楽しさを味わう。 ・身近な生活経験やごっこ遊びを、友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。 			<ul style="list-style-type: none"> ・冬の事象に関心をもち、遊びを楽しむ。 ・生活や遊びに、数や量、形や色・文字を取り入れて楽しむ。 ・保育者や友だちの話を親しみを持って聞いたり、考えたりして、さまざまなことばに興味をもち、遊びを楽しむ。 ・ことば遊びや伝承遊びなどを通して、ことばの面白さに気づく。 ・音楽に合わせて、みんなと一緒に歌ったり踊ったり、楽器を鳴らしたりすることを楽しむ。 ・イメージしたものを描いたり作ったりして、さまざまに表現してあそぶ。 		
援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な基本的生活習慣の個人差を把握し、自分でしようとする気持ちを育てていく。 ・遊びや生活の仕方を伝え、みんなと一緒にあそぶ楽しさを味わえるようにしていく。 			<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨期・夏期を過ごすための環境を整え、生活の仕方を知らせる。 ・自然と十分なふれあいがもてるよう、一人ひとりの個性を大切にしながら、感動や共感することの育ちを助けていく。 			<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士の運動機能を考慮しながら、活動する楽しさをもてるようにする。 ・園外へ積極的に出かけ、自然や社会現象にふれて感動する体験が多くなるようにする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・年長組になる喜びをもち、さまざまなかかわりの場を通して自信につなげていくようにする。 ・友だちとのかかわりのなかで十分自己発揮できるようにし、意欲へとつなげていけるようにする。 			

年間指導計画 5歳児

認定こども園 遊林愛児園
作成日 2008年5月5日

年間目標	スローガン 伝えよう 生命の尊さ ほとけの心(森羅万象 いのちは皆 平等なり) 〈保育姿勢〉 一人ひとりを大切に、ともに生き・ともに育ちあう保育を実践しよう。	総合目標 仏様の子として、強く・明るく・仲良く伸びる。	基本の柱 1. 仏様に親しみ、生命の尊さと生きる喜びを感じる。(生命尊重・・・ひとつひとつのものを大切にすること) 2. 身近な自然や社会の恵みに感謝し、明るい態度を作る。(報恩感謝・・・ありがとう・すみませんが素直に言える) 3. みんな仲良くし、希望をもって正しい行いに努める。(和合精進・・・一人ひとりが持っている力を出し合って共存していく力)	家庭と共に 〈健全な子育てを願って〉 1. メディア時代の豊かな子育て(ノ・テレビデーの推進など) 2. 望ましい食生活を指して(食習慣の必要性など) 3. 子どもの可能性を信じ、子どもからも信じられる親	子育て支援 家庭 ・家庭との連絡を密にし、保育者と保護者との信頼関係のもとに子育てについて共通理解を深め、成長の喜びを共有していく。 地域 ・うきは地域子育て支援センター「ゆうりんランド」を拠点として、地域の子育て支援、並びに一時的保育を行う(ホームページを参照) ・園庭開放、講演会、育児相談などを通して、地域の子育てを支援する。 ・地域活動への参加や園内行事への招待など、地域交流を行う。								
	4月 礼拝	5月 和合	6月 精進	7月 歓喜	8月 慈悲	9月 協調	10月 観察	11月 報恩	12月 奉仕	1月 忍耐	2月 智疑	3月 希望	
期	1期(4～5月)			2期(6～8月)			3期(9～12月)			4期(1～3月)			
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・年長になった喜びや期待はあるが、なかには緊張感や不安感をもつ子供もいる。 ・基本的な生活習慣は身につけているが、保育士のことばがけが必要なきももある。 ・運動機能が伸び、友だちと一緒に戸外で活発にあそぶ姿がみられる。 ・異年齢の友だちの世話や手伝いをしようとはりきっている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・力関係や遊びに対する考えの違いから、ぶつかり合いも多くなるが、友だちの思いやよいところにも気づくようになる。 ・身近な動植物への興味や関心を持ち、世話をしたり、絵本や図鑑で調べたりしている。 ・異年齢の友だちとの交流が多くなり、親しみをもって遊びを楽しんでいる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒に共通の目的に向かって考えを出し合い、工夫したり遊びを広げたりしている。 ・好奇心や探究心もちながら、身のまわりの出来事や自然事象にふれ、変化に気づき、感動したり収穫を喜んだり、作付けを楽しんだりする。 ・異年齢の友だちとの共通の遊びが増えてきて、年長児としてリードする姿がみられる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・就学への期待が膨らみ、生活や遊びに意欲的に取り組んでいる。 ・自分たちで生活や遊びが進められるようになり、互いに認め合うようになる。 ・進んで異年齢の友だちとかかわり、自分たちがしてきた遊びや仕事を喜んで伝える。 			
期のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ◎一人ひとりの欲求を満ち、快適に過ごすことができるようにする。 ・年長児になったことを喜び、自覚をもちながら行動しようとする。 ・気の合う友だちとかかわりながら、遊びを楽しむ。 ・異年齢の友だちの世話をしたり、一緒にあそんだりして、親しみを持つ。 <p>◎収穫や作付けを通して、自然の営みや恵みに感謝し、生命の尊さを知る。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ◎一人ひとりが安心して自分の気持ちや考えを表しながら生活ができるようにする。 ・友だちとイメージを出し合いながらあそぶ楽しさを味わい、つながりを深めていく。 ・身近な動植物や自然に関心を持ち、その大きさ、美しさ、不思議さに感動する。 ・異年齢の友だちと生活や遊びを楽しむなかで、思いやりの気持ちをもつ。 			<ul style="list-style-type: none"> ◎一人ひとりの気持ちや考えを理解して受容し、自己発揮して活動できるようにする。 ・さまざまな遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通してからだを動かすことを楽しむ。 ・共通の目的に向かって友だちと協力しながら、活動に取り組む充実感を味わう。 ・異年齢の友だちとかかわり、相手の気持ちを受け入れて遊ぶ。 			<ul style="list-style-type: none"> ◎一人ひとりの就学への期待や不安を受けとめ、充実した生活を送ることができるようにする。 ・大きくなったことを喜び、自覚や自信を持って行動しようとする。 ・異年齢の友だちに自ら進んで声かけをして誘い、いたわって遊ぶ。 			
保育の内容	基礎事項	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内外の環境保健に留意し、安全で快適に過ごすことができるようにする。 ・一人ひとりの子どもの気持ちや考えを受容し、保育士との信頼関係ができるようにする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨や暑い時期の健康状態に十分配慮し、水分補給や休息などを適宜行うようにする。 ・情緒の安定を図り、自分の気持ちや考えを安心して表すことができるようにする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・気温の変化に応じて、温度調節や換気に配慮し、安全で快適に過ごすことができるようにする。 ・仲間意識が高まるなかで、葛藤や欲求を理解し、共感したり励ましたりする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの健康状態を把握し、異常を感じたときは適切な対応をすると共に、子ども自身からも訴えることができるようにする。 ・生活に必要な習慣や態度などが身につく、自信を持って生活ができるようにする。 		
	健康	<ul style="list-style-type: none"> ・からだ食べ物との関係に関心を持ち、友だちと一緒に楽しく食事をする。 ・検診の必要性を理解して、病気の予防に関心を持ち、健康な生活に必要な基本的な習慣や態度を身につける。 ・新しい環境のもとでの生活の仕方がわかり、自分でしようとする。 ・危険なことがわかり、安全に気をつけて遊ぶ。 ・戸外で積極的にからだを動かして遊ぶ。 ・保育士や友だちと、安定した関係のなかで意欲的に遊ぶ。 ・友だちと生活するなかで、集団のきまりの大切さに気づく。 			<ul style="list-style-type: none"> ・夏の生活の仕方がわかり、自分から進んでやる。 ・全身を使って、夏ならではのダイナミックな遊びをする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・からだ食べ物との関係を理解し、何でも食べようとする。 ・さまざまな運動器具や遊具を安全に使い、全身を動かして積極的に遊ぶ。 			<ul style="list-style-type: none"> ・冬の健康的な生活に必要な習慣を身につけ、自分から進んでやる。 		
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・春の自然や身近な動植物に関心を持ち、いたわり、世話をする。 ・保育士や友だちとの会話を楽しむ。 ・絵本や童話などに親しみ、その面白さがわかり、想像して楽しむ。 ・音楽に親しみ、友だちと一緒に歌ったり踊ったりすることを楽しむ。 ・さまざまな素材や用具を使って、自由に描いたり作ったりして楽しむ。 			<ul style="list-style-type: none"> ・身近な動植物に親しみ、進んで世話をする。 ・夏の自然事象がもつ、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気づく。 ・考えたことや経験したことを保育士や友だちに話して会話を楽しむ。 ・絵本や童話、図鑑などを見たり聞いたり、調べたりして楽しむ。 ・音楽に親しみ、聴いたり歌ったり、踊ったり、楽器を使用してリズムの楽しさを味わう。 ・さまざまな素材や用具を利用して、描いたり作ったりすることを工夫して楽しむ。 			<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと力を合わせ、考えを出し合いながら目的をやりとげようとする。 ・身近な人びととの交流を通して、人とかかわることの楽しさや大切さを知ったり、感謝の気持ちをもったりする。 ・一つのトラブルに対して、お互いがその原因を点検しようとする心を培う。 			<ul style="list-style-type: none"> ・自分の目標に向かって努力し、積極的にさまざまな運動や遊びをする。 ・友だちとのかかわりのなかでよいことや悪いことがわかり、判断して行動する。 		
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・春の自然や身近な動植物に関心を持ち、いたわり、世話をする。 ・保育士や友だちとの会話を楽しむ。 ・絵本や童話などに親しみ、その面白さがわかり、想像して楽しむ。 ・音楽に親しみ、友だちと一緒に歌ったり踊ったりすることを楽しむ。 ・さまざまな素材や用具を使って、自由に描いたり作ったりして楽しむ。 			<ul style="list-style-type: none"> ・身近な動植物に親しみ、進んで世話をする。 ・夏の自然事象がもつ、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気づく。 ・考えたことや経験したことを保育士や友だちに話して会話を楽しむ。 ・絵本や童話、図鑑などを見たり聞いたり、調べたりして楽しむ。 ・音楽に親しみ、聴いたり歌ったり、踊ったり、楽器を使用してリズムの楽しさを味わう。 ・さまざまな素材や用具を利用して、描いたり作ったりすることを工夫して楽しむ。 			<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変化に気づき、収穫を喜んだり、自然物を使ってさまざまな遊びを楽しんだりする。 ・生活のなかで、前後、左右、遠近などの位置の違いや、時刻、時間などに興味や関心をもつ。 ・みんなで共通の話題について話し合うことを楽しむ。 ・童話や詩などの中のことばの面白さ、美しさに気づき、自ら使って楽しむ。 ・さまざまな音色やリズムの違いを知り、みんなと一緒に歌ったり楽器を弾いたりして楽しむ。 ・友だちと一緒に協力して描いたり、作ったり、表現したりすることを楽しくする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・冬の事象に関心を持ち、遊びに取り入れれたり、雪解けから春のきざしを感じたりする。 ・身近にある文字や数、量、図形などに関心を持ち、生活や遊びのなかで使おうとする。 ・人の話を注意して聞き、相手にわかるように話す。 ・絵本や物語などに親しみ、内容に興味を持ち、さまざまに想像して楽しむ。 ・感じたこと、想像したことを、ことばやからだ、音楽、造形などさまざまな方法で表現し、楽しむ。 		
	異年齢	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢の友だちに親しみを持ち、喜んでかかわる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢の友だちに、生活や遊びの中でやさしくかかわる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・共通の遊びのなかで気持ちを伝え合いながら、思いやりを深める。 			<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢の友だちに遊びを教えたり、仲間に誘ったりしながら、いたわって遊ぶ。 ・異年齢の友だちとかかわりを深め、就学に向けて自信を持つ。 		
援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・継続児と新入園児では生活経験の違いが大きいので、一人ひとりの思いを温かく受容し、安心感をもたせながら、園生活の流れや楽しさを伝えていくようにする。 ・自分でしようとしている姿を認めたり、見守ったりして、主体的にあそぶ力を育てる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢児との交流では、遊びに入れない子どもに保育者が仲立ちをし、遊びを楽しめるようにする。 ・健康、安全に過ごすために必要な基本的習慣を身につけることができるように、個人差に応じてかかわり、自分からしようとする気持ちを育てる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・園外に積極的に出かけ、豊かな感性や思考力、表現力を培うよう、自然や社会のさまざまな事象とのかかわりを深めるようにする。 ・運動会、敬老会などの行事は地域にも呼びかけ、高齢者や異年齢の子どもとふれあう機会をもつようにする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちや経験を友だちと伝え合ったり、話し合うことの楽しさを味わえるようにする。 ・一人ひとりの成長を認め、子ども同士の模倣や、認め合いを大切にしながら表現意欲や創造性を育てる。 			

※他の機関との連携・・・小学校及び、地域との連続性を踏まえ、相互理解し、年間を通して積極的に交流する(年間2回の協議会も含む)。

保育年間目標

認定こども園 遊林愛児園
作成日 2008年5月5日

総合目標		佛の子として強く明るく仲良く伸びる(ともに生きともに育ち合う)	
基本の柱		1. 佛様に親しみ 生命の尊さ生きる喜びを感じとる(生命尊重) 1. 身近な自然や社会の恵みに感謝し 明るい態度を作る(報恩感謝) 1. みんな仲良く 希望を持って正しい行いに努める(和合精進)	
月	単元	ねらい	援助
4	「佛様(ののさま!!)」って呼んでみよう(礼拝)	1. 進級、入園の喜びを味わい、園生活に期待を持つ 2. 佛様に親しみをもち、佛の子である事の喜びを知る 3. 園生活の流れやきまりをみにつける	1. 友だち作りに配慮し、園生活の楽しさを知らせていく 2. 静かに佛様へお参りし、手を合わせる等の礼拝の形から伝える 3. 園の生活習慣を歌や生活を通して知らせていく
5	みんなで仲良く(和合)	1. 佛さまに親しみを持つ 2. 生まれた喜びを知る 3. 集団生活のルールを守り、仲良く楽しく遊ぶ	1. 花祭りの行事や誕生会を通して、佛様に親しませる 2. 子供の日、母の日等の行事から生命をうけた歓びと、ありがたさに気付くような語りかけをしていく 3. 譲り合いや協力の意味を知らせ、仲良く遊ぶ事の楽しさを知らせていく
6	物の命を大切に(精進)	1. 自然の変化に目を向け、命の尊さを知る(共存の自然界に関心を持つ) 2. 規則正しい生活を送る(一瞬一瞬を大切に) 3. 梅雨期の健康管理の大切さを知る	1. 身近な動植物の飼育栽培や、田畑の観察を通して生命を大切にすることを育てる 2. 時の記念日に因んで、時間の大切さを知らせ、健康的な生活のリズムを身につけさせる 3. 梅雨期の特徴を知らせ、衛生面に気をつけていく 4. 父の日に因んで、父の存在の意識付けに努力していく
7	夏を楽しむ(歓喜)	1. 夏の自然に興味を持つ 2. 夏の健康管理の大切さを知る 3. 水に慣れる(危険と安全)	1. 夏の自然や行事に関心を持たせて、情操を豊かにする 2. 食生活や衛生管理について、具体的に知らせて夏を楽しく過ごせる様に配慮する 3. ルールを守る事によって、楽しく水遊びが出来る事を知らせる
8	“思いやりの心に”と育ち合う(慈悲)	1. 植物や小動物をかわいがる 2. お盆を通して佛様のお心を知る 3. 異年齢児との交流を深める	1. 共存の自然界だからこそ、無益の殺生をしてはいけない事を伝える(自然が人間に与える恩恵等について話し合う) 2. 盆会の意味を話し、慈しみの心の大切さを伝える 3. 解体保育をとおして、思いやり、いたわりの心が育つように配慮する
9	力を合わせる(協調)	1. 生活のリズムを整える 2. カー杯運動をする 3. 先祖や老人を敬う	1. 夏の生活で乱れている園生活のリズムを整えていく 2. ルールを守り、励ましあいながら、力を合わせてやり遂げる喜びを知らせる 3. 敬老の日や彼岸会を通して敬う心を伝える
10	秋を存分に知る(観察)	1. 秋の自然に触れ、観察の目を養う(作物の成長にも目を向ける) 2. 運動会で協力し合う心と態度を身につける	1. 身近な自然に進んで目を向け、興味を持つような働きかけをする 2. 練習で疲れが出ていないか等、子供の健康に(特に視診)配慮する行事で乱れた生活リズムを整える 3.
11	恵みに感謝する(報恩)	1. 収穫を喜び自然の恵みに関心を持つ 2. 遊戯会に向けて頑張る 3. 勤労の大切さを知り、働く人々に感謝する	1. 農作業の体験から、自然の恵みの不思議さを問かけ、恵みに驚きと喜びを知らせ、すべての物の大切さを話し合っていく 2. 音楽やリズムに合わせ、身体を表現する喜びを体験させて、皆の前で発表しやりとげた喜びを経験させる 3. 仕事の色々について気づかせていく
12	みんなで助け合う(奉仕)	1. お釈迦様や親鸞様の“慈悲”の心を教えとして知る 2. お互いに助け合い、いたわりあって生きることの大切さを、色々な交流事業で学んでいく	1. 成道会や御正忌報恩講の行事に、進んで参加させ、思いやりや、いたわり合う事の大切さを伝えていく 2. 社会的行事(歳末助け合い運動、年の瀬)について話し合い、皆で(世界中)助け合う事の大切さを知らせていく
1	寒さに負けない(忍耐)	1. 新年を迎え新たな希望を持つ 2. 経験を生かし元気に遊ぶ	1. 新年を迎えて成長の喜び、これからの園生活により一層の期待を持たせる 2. 皆で楽しく、正月遊びを経験させる 3. 自由遊びや保育の中で、経験した活動を生かし、寒さに適した遊びを見つけ出していける様導く
2	物事をよく考える(智疑)	1. 涅槃会の行事を通して、お釈迦様の御一生を振り返り、教えを確かめ合う 2. 残り少ない園生活を十分に楽しませ、生活が自主的に進められる様になる	1. 遊びや製作などを通して、よく考え行動できる人になる様関わりを持つ(命の尊さ、物の大切さを、涅槃会、おもちゃの日をとおして感じとらせる) 2. 自分の主張ばかりではなく、相手の事も思いやる心を育てていく
3	新しい希望を持つ(希望)	1. 進級進学に期待を持ち、最後の園生活を楽しく送る 2. 今までの生活を振り返って、育ててくださった方々や、すべてのものに感謝する 3. 春の自然に親しむ	1. 発達段階に適応した生活習慣を確立させる様に働きかけていく 2. 佛の子として、ともに成長した事に感謝し、その喜びを将来の夢に託せる様、保育を進めていく 3. 春はすべての生命が芽生える季節を実感させていく様、働きかけに努力する

年間食育計画表

認定こども園 遊林愛児園
作成日 2008年5月5日

スローガン:ともに生き、ともに育ち合う保育を実践しよう。		年間目標:・給食を通じて、健康な心と身体を育てよう。・野菜作りを通して、自然の恵みや生命の営みに気づかせ、感謝する心を育てよう。					
月	期別ねらい	月目標	指導内容	給食室から	行事	旬の食べ物	月
4	楽しく食べよう	給食の味に慣れよう	給食の味に慣れ、友だちと一緒に楽しく食べられるようにする	子供の好みに合ったメニューを取り入れよう	◇旬の食材を使用し、いろいろな食材がある事を知らせる	たけのこ 高菜	4
5		よくかんで食べよう	かむことの大切さを知らせる	個々の食事の量を把握しよう		子どもの日 花まつり 食育研修(年長親子)	いちご グリーンピース
6	基本的な食習慣を身につける	手をきれいに洗おう	正しい手洗いができるようにする	衛生に気をつけて安全な給食を提供しよう	◇季節や行事食、郷土食を知らせる	じゃが芋 玉ねぎ	6
7		衛生に気をつけよう	身のまわりを清潔にし、衛生に関心を持たせる			夏野菜をふんだんに取り入れよう	サツマイモ苗植え 大豆まき 盆踊り
8	衛生に気をつける	暑さに負けず元気に食べよう	水分補給の仕方に気をつける 三度の食事をきちんととる事の大切さを知らせる	夏野菜をふんだんに取り入れよう	◇保育士と連絡して偏食がある子どもや食物アレルギー児への対応を図る	ぶどう なし とうもろこし	8
9	好き嫌いしないで残さず食べ丈夫な体を作る	生活リズムを整えよう	朝食を食べることの大切さを知らせる 食事、運動、休養をバランスよくとることを話す	収穫の喜びを感じるメニューを提供しよう	◇月齢に合わせた食事を提供する	栗 なし 枝豆	9
10		もりもり食べよう	秋の味覚を知らせ、食べる意欲を育てる			◇適温給食を提供する	鍛錬遠足 運動会
11		感謝して食べよう	食物に命がある事を知らせ、作る人、調理する人に感謝し、食べ物を大切にすることを話す	食べ物に感謝して好き嫌いをしないで食べよう	◇食べる様子や残食等を参考に献立作成や調理をする	さつま芋	11
12		食べ物の働きを知ろう	体の中で食べ物がどんな働きをするかを理解させる			報恩講お遊戯会 お餅つき会 おとき・成道会	ブロッコリー 大根・人参 白菜・ごぼう れんこん
1	みんなで楽しく食べ、成長の喜びを味わう。	好ましい食習慣を身につけよう	楽しく食べるために大切なこと(マナー)を知らせる	日本の文化を感じられるような食事を提供する	正月 七草	みかん りんご ほうれん草 かぶ・カリフラワー	1
2		かわりばんこに食べよう	主食、副食、汁物を順番に食べることを知らせる	個々が満足する量や食材を提供する	節分 涅槃会 ジャガイモ植え	ほうれん草 かぶ みかん りんご	2
3		友だちと楽しく食べよう	友だちと一緒に食べる楽しさを味わわせる		ひなまつり お別れ遠足 卒園式	キャベツ よもぎ つくし セリ	3

※誕生会、餅つき、野菜作り、クッキング保育等を通して、食育に努める。

※家庭への働きかけで、健康的な食生活(食習慣)の実践を推進する(1日3食、30品目の摂取、地産地消、お母さん・お父さんの手作り料理で楽しい食事など)。